

4. オリンピック・パラリンピック競技大会の 医務体制

赤間高雄*

●1. 夏季オリンピック・パラリンピック競技大会の規模

2012 年のロンドン大会では、オリンピックの参加選手数 10,568 人、実施競技数 26、参加した国と地域 204、大会運営に参加したスタッフが 6,000 人、ボランティア 70,000 人、登録メディア 21,000 人以上、チケット販売数（観客数）821 万枚、パラリンピックでは選手数 4,237 人、実施競技数 20、参加した国と地域 164、観客数 270 万人、と報告されている¹⁻⁴⁾。リオ大会では、オリンピックは参加選手数 11,303 人、実施競技数 28、参加した国と地域 206、パラリンピックは参加選手数 4,316 人、実施競技数 22、参加した国と地域 160、観客数 215 万人とされている^{4,5)}。開催期間としては、7 月下旬ないし 8 月上旬から、まず夏季オリンピックが約 3 週間実施され、約 2 週間の間隔をあけて、パラリンピックが約 2 週間開催される。この約 2 カ月間に開催都市には非常に多くの人々が集まり、次々と多くの競技会が実施される。開催都市にとって通常とは全く異なる人数の集団活動（mass gathering）が行われるので、医務体制も通常とは異なる体制が必要となる。

●2. 大会の構造と医務体制の考え方

オリンピック・パラリンピック競技大会では、大会施設（競技会場、練習会場、選手村等）において、すべての大会参加者に適切なメディカルサービスが提供されなければならない。大会参加者は、各国選手団（選手、スタッフ）、国際競技連

盟（IF、競技役員等）、マーケティングパートナー、オリンピック・パラリンピックファミリーと要人、メディア、観客、大会運営スタッフ等に分類できる。これらの大会参加者のうち観客以外は、個人が大会に登録されて公式 accreditation（AD）カードを所持する。オリンピック・パラリンピック競技大会の施設内では、AD カードの有無、さらに AD カードの種類によってアクセス可能区域が明確に区別されるのが特徴である。例えば、競技エリアや選手のウォームアップエリアに AD カードを持たない観客は立ち入ることはできない。また、大会施設内は AD カード所持者がチケットを所持する観客しか入場できない。オリンピック・パラリンピックの医務体制は、大会関連施設（競技会場、練習会場、選手村等）内は大会組織委員会が整備して運営し、大会関連施設外は開催都市が整備運営することになる（図 1）。

●3. 大会関連施設内の医療サービス

(1) 医務体制における IOC と組織委員会の役割

大会組織委員会が整備して運営する大会関連施設内の医療サービスについては、オリンピックを主催する国際オリンピック委員会（IOC）とパラリンピックを主催する国際パラリンピック委員会（IPC）が大会前の準備状況と大会中の運営状況を指示監督する。オリンピック大会中には IOC 医事委員会ゲームズグループが選手村ポリクリニックと競技会場の医事運営を視察し、組織委員会の医事責任者と毎朝ミーティングを行って組織委員会の医事運営を監督する。IOC 医事委員会ゲームズグループは、救急、歯科、薬剤、理学療法、公衆衛生などの専門家に次回オリンピックの組織委員

* 早稲田大学スポーツ科学学術院、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会メディカルディレクター

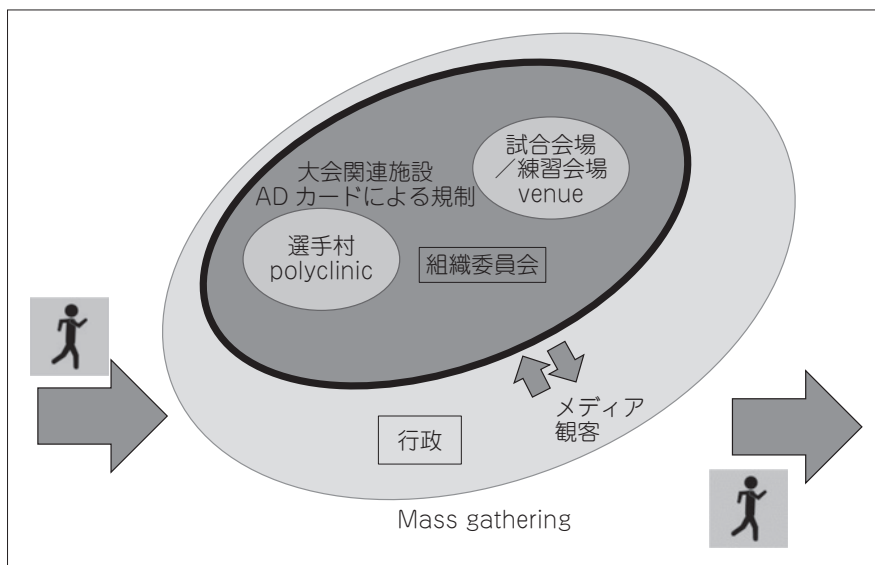


図1 大会の構造と医務体制の考え方
組織委員会は主に太字サークル内のADカード所持者とチケットを所持した観客
に対する医務体制を整備する。

会医事責任者が加わって構成される。

(2) 選手村ポリクリニック

選手村ポリクリニックには、内科、整形外科、
歯科などの診療科、臨床検査、画像検査、調剤薬
局、および理学療法などが設置される。選手村ポ
リクリニック利用者の受診理由は一般の医療機関
とは大きく異なる。ロンドンオリンピックでの選
手村ポリクリニックを選手が受診した理由は、①
筋骨格系(全身、筋、関節など)52%、②歯科(虫
歯、マウスガードなど)30.5%、③眼科(検眼など)
8.9%で、全体の90%以上を占めている⁹⁾。これら
の受診者状況から、リオ大会のポリクリニックで
は、理学療法部門と歯科診療の専有面積およびス
タッフの比率が高く準備され、実際に、リオオリ
ンピックでは、理学療法部門(マッサージを含む)、
歯科(マウスガード作成を含む)、および眼科(メ
ガネ作成を含む)の受診者が大多数を占めていた。
自国選手団に医師やトレーナーなどのメディカル
スタッフを十分には帯同してきていない選手の利
用が多いことも推察される。

(3) 競技会場の医務体制

競技会場では選手を対象とした医療サービス体
制と観客を対象とした医療サービス体制を明確に
区別して整備する。選手対象では、選手用医務室、
競技区域内(Field of play; FOP)とウォームアッ
プエリアの救急体制、および選手の救急搬送体制
が必要である。観客対象では、観客用医務室、観

客席内を巡回して初期対応にあたるファーストレ
スポンダー(Mobile Medical Responder)、および
観客の救急搬送体制が必要である。観客はAD
カードを持たないので、ADカードを持つ選手と
は会場内で完全に分離される。選手は有名人であ
るから、情報管理の面からも選手用医務室と観客
用医務室は別々に設置する必要がある。救急搬送
先は、基本的には、選手は大会公式病院、観客は
地域の救急対応病院となる。

選手対象の医療サービスに従事するメディカル
スタッフに必要な要件としては、アンチ・ドーピ
ングの知識、トップアスリートに対する診療経験、
および英語の語学力であり、さらにFOPで活動
するメディカルスタッフは競技規則の知識も必要
である。

(4) 公衆衛生

大会開催都市では大会施設内を含めて mass
gathering に対する対応が必要である。感染症対
策(とくに輸入感染症対策)、災害やテロの発生時
の医療対応は行政が中心となるが、大会施設内の
公衆衛生に関わる事項(水質、食品衛生、感染症
対策等)は大会組織委員会が行政と連携して情報
を共有する必要がある。リオ大会では、Zika ウイ
ルス感染症が注目され、IOC 医事委員会ゲームズ
グループの毎朝のミーティングで発生状況が報告
された。2020年東京大会では、暑熱環境下での開
催になるので、選手や観客の熱中症対策が重要な

課題である。2020年東京大会のマラソンと競歩の開催予定日時⁷⁾のWBGTについて、仮に2016年の同日同時刻のWBGTを参照⁸⁾してみると、開催予定時間帯の約2/3でWBGTが28℃以上の熱中症嚴重警戒レベルとなっていた。

(5) パラリンピックの医務体制

夏季オリンピックの閉会后、約2週間の移行期間を経てパラリンピックが開会する。リオ大会の組織委員会の医務体制は、オリンピック期間の体制がほぼそのままパラリンピック大会に引き継がれた。オリンピック開始前の準備段階から組織委員会はIOCのみでなくIPCとも情報交換して準備するので、移行期間に大幅な変更は必要ないとのことであった。パラリンピック参加選手数はオリンピックの半数以下なので、規模は縮小する。スタッフ数は減少するが、会場のmanagerは変更せずに継続してスムーズな運営を図っていた。ただし、パラアスリートのメディカルケアの経験者を補充する必要がある。

文 献

- 1) The London Organising Committee of the Olympic Games and Paralympic Games Limited: Report and accounts for the 18 month period ended 30 Septem-

4. オリンピック・パラリンピック競技大会の医務体制

- ber 2012.
- 2) International Olympic Committee: FACTSHEET LONDON 2012 FACTS & FIGURES. UPDATE - JULY 2013.
- 3) LONDON 2012: Official website of the Olympic Movement: <https://www.olympic.org/london-2012> (2017年1月7日確認).
- 4) Official website of the Paralympic Movement: <http://www.paralympic.org/paralympic-games> (2017年1月7日確認).
- 5) Rio 2016 sets records on the field of play and online: IOC News, Rio 2016. <https://www.olympic.org/news/rio-2016-sets-records-on-the-field-of-play-and-online-1> (2017年1月7日確認).
- 6) Vanhegan, IS, Palmer-Green, D et al.. The London 2012 Summer Olympic Games: an analysis of usage of the Olympic Village 'Polyclinic' by competing athletes. *Br J Sports Med.* 2013; 47: 415-419.
- 7) 立候補ファイル, 東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会, <https://tokyo2020.jp/jp/games/plan/> (2017年1月7日確認).
- 8) 環境省熱中症予防サイト, www.wbgt.env.go.jp/record_data.php (2017年1月7日確認).